

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	破局化思考は慢性疼痛の発症と関係するか？ 急性期帯状疱疹関連痛の患者での検討		
② 研究期間	学長許可日(2022年02月24日)から2024年03月31日		
③ 対象患者	2016年4月1日から2021年3月31日までに奈良県立医科大学ペインセンターを受診した患者のうち、発症から3か月以内の帯状疱疹患者		
④ 対象期間	対象期間2016年04月01日から2021年03月31日		
⑤ 研究機関名称	奈良県立医科大学麻酔科講座, 奈良県立医科大学附属病院麻酔科		
⑥ 研究責任者	氏名	藤原亜紀	所属 麻酔ペインクリニック科
⑦ 使用する試料・情報等	以下の①-⑭の情報を電子カルテから抽出し研究に使用します。①年齢、②性別、③帯状疱疹罹患部位、④皮疹重症度、⑤感覚障害の有無、⑥帯状疱疹発症から当科初診までの日数、⑦初診時NRS、⑧3か月後NRS、⑨初診時PCS(pain catastrophizing scale)、⑩初診時HADS(hospital anxiety and depression scale)、⑪初診時EQ5D5L(Euro QOL 5-dimension 5-level)、⑫ブロック治療の有無とその内容、⑬既往歴、⑭初診から1か月間の内服処方の内容		
⑧ 研究の概要	破局化思考とは、痛みに対して注意がとられることや無力感、そして痛みの脅威を過大評価することで特徴づけられる認知過程であり、痛みの慢性化に関係するとされています。しかし、破局化思考の強い患者の痛みが慢性化するのか、痛みが慢性化するうちに破局化思考が強くなるのかは結論が得られていません。本研究では、急性期帯状疱疹関連痛（急性痛）の患者を対象に、破局化思考が強い患者が帯状疱疹後神経痛（慢性痛）を発症するのかを調べ、破局化思考と痛みの慢性化の関連を調べます。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2022年 2月 24日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。		

⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 麻酔ペインクリニック科 担当者：藤原亜紀		
	電話	0744 (29) 8902	FAX 0744 (23) 9741
	Mail	K119682@naramed-u. ac. jp	